

今後の当山行事予定

春季大祭(五月二十八日)

●御本尊御開帳大護摩供

午前五時・十時・十一時半
午後一時半・三時

●大般若経転読付大護摩供

午前十一時半

●柴燈大護摩供

午後一時頃点火

観世音夏まつり(七月十八日)

●信徒安全祈願大護摩供

午前十一時半

●施餓鬼回向法要 観音総拝所にて

午後一時

*回向お申し込みの方には福引きがございます

地蔵盆(八月二十四日)

●地蔵尊前にてお勤め

午後四時

交通安全祈願

午前9時より午後4時まで

毎時0分/30分の30分毎

(但し、毎月28日は御縁日にて通行禁止となりますので、お車の安全祈願はお勤めできません)

毎日の御護摩奉修時間

午前6時(28日は5時) 午後1時半
午前10時 午後3時
午前11時30分

仏具磨きの日のお知らせ

4月25日 5月25日 6月25日 7月25日 8月26日

この日は仏具を磨く日ですから、昼の御護摩はございません。(朝6時のお勤めはいたしております)

※なお7月31日は本堂大掃除の為、昼の御護摩はございません。

新元号が発表され、

まもなく新しい世を迎えます。平成元年の生まれである私には、とりわけ感慨深く思われます。これから始まる時代が、多くの人とつとてより良いものとなることを、願うばかりです。

山報の編集も二年目を迎えました。今号もなんとか発行でき、ほっと胸をなでおろしています。微力ながら、今年も精進してまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

さて、当山では来たる五月二十八日、春季大祭として柴燈大護摩供ならびに大般若経転読法要が勤められます。皆様には、ぜひご参拝くださり、お不動様とさらなるご縁を結んでいただかれますよう、ご案内申し上げます。



平成31年4月18日発行

通巻 161号

発行所 瀧谷不動明王寺
〒584-0058 富田林市彼方1762
電話 0721-34-0028 振替 00930-5-17704
●発行人 荒谷純光 ●編集人 荒谷純栄

- 五月二十八日 春季大祭
- 柴燈大護摩供 添え護摩木の案内/観世音夏まつりの案内 3頁
- 經典解説 十善戒 4頁
- 令和三年 開創二千二百周年記念事業「奉讀お願い」 5頁
- 記念事業 寄進者御待遇表 6頁
- 開創二千二百周年記念事業 寄進者御芳名 7、8頁
- お初穂米ご奉納御礼/諸行事ご報告 8頁
- 節分会 開運福豆まきご報告 9頁
- 今後の当山行事予定 10頁

菩薩として生きる

四月の爽やかな季節となりました。本年は元号も新しくなり、また当山におきましても新客殿の建設が着々と進み、まさにすべてが刷新されるような年であります。新社会人のみなさんも、そろそろ新しい環境に慣れてくるころではないでしょうか。

しかしながら、なかには学生だった頃感覚を引きずったまま社会に出てみると、自分が思っていたこととは食い違い、大きな挫折感を抱く人もいるかもしれません。人生山あり谷あり。自分の思っていたように、事は簡単に進まないものです。でも、その挫折という経験が

また、次の大きな飛躍のステップにもなります。「一番大きな失敗とは、二度も失敗をしないことである」と、何かで聞いた言葉であります。が、人生とは、二つの失敗を経験することで、大きな成功への道が開かれてゆくのではないのでしょうか。

お釈迦さまも最初から、完璧な仏さまではありませんでした。大乘仏教の教えでは、お釈迦さまが、ルンビニーにおいて母である摩耶夫人の右脇からお生まれになる前、その前世において何回も生まれ変わり、様々な善業を積まれたと伝えられています。おそらく、その前世においても多くの失敗を経験された結果、偉大な悟りを開かれたのでしょ。

この量り知れないほど前世で修行されたお釈迦さまのように、悟りに向かって進む人々の姿を、大乗仏教では「菩薩」と称しています。文殊菩薩や観音菩薩のような有名な菩薩だけでなく、実は仏教を信じる普通の人も、「菩薩」と呼ばれるのです。

この「菩薩」という言葉は、「菩提(ぼだい)薩(さつ)埵(た)の略称で、「菩提(ぼだい)を求める「薩埵(さつた)」「人」という意味になります。すなわち、仏教を信じ、いつかは仏さまの悟りを目指そうとする人は、すべて菩薩の一員となるのです。たとえば、仏教を信じて、はじめに働く八百屋さんがいたならば、その人は「八百屋菩薩」と呼ばれるべきでしょう。

『華嚴経』には、「発心すれば、そのまま仏の悟りに到達する。」と説かれています。それは、仏教を信じる菩薩たちを、仏さまは一人も見捨てることなく仏の世界へと導かれることを意味します。

そのようにお不動様も、手を合わせて懸命に祈るご信心の方々すべてに慈悲の眼差しを向けられ、一人も見捨てることのないのです。この世を生きて行くなかには、様々な苦労が降りかかってくるものです。だからこそわたしたちは、お不動さまに導かれていることを自覚して、これからの新しい時代を一人の菩薩として、毎日を歩みたいものです。

五月二十八日 春季大祭
 大般若経転読付大護摩供
 柴燈大護摩供 厳修

お不動様のご縁日のなかでも、当山では特に五月二十八日を「春季大祭」として盛大にお勤めしております。当日は、午前十一時半から本堂にて、大般若経転読付大護摩供が勤められます。また、大峰山信徒会所属の修験者により、境内にて柴燈大護摩供が厳修され、ご信徒の皆様のお願いを祈念いたします。

柴燈大護摩供では、皆様をお願いを記していただいた数万本にのぼる護摩木が、修験者の手によって、天をも焦がす大きな炎に次々と投じられ、祈りを込めて焚き上げられます。

ぜひ当日はご参拝くださり、ご自身のお祈りを深めていただきますよう、ご案内申し上げます。

- 五月二十八日 春季大祭
- 午前五時 御本尊御開帳大護摩供
- 午前十一時頃 修験者大練供養出発
- 午前十一時半 大般若経転読付大護摩供
- 午後一時頃 柴燈大護摩供点火



火に投げられる護摩木



大般若経転読法要



柴燈大護摩供

柴燈大護摩供 添え護摩木のご案内

五月二十八日の柴燈大護摩供では、皆様のお願いが記された護摩木を火中に投じ、所願成就をご祈念いたします。

護摩木には、火の中におられるお不動様にお供えし、お願い事をお届けするという意味と、お不動様の智慧の火によって、私たちの心の汚れを焼きはらっていただくという二つの意味があるとされます。

柴燈大護摩供のご利益をいただくには、本数にかかわらず、お願いを添え護摩木に書いてお供えください。

なお、三十本以上お申し込みの方は、お不動様の身代わりとしてお祀りいただく御幣のお授けと、五月二十八日当日にお弁当のご接待がございます。合わせてお受けください。

観世音夏まつり(施餓鬼回向)のご案内

当山では、毎年七月十八日に、ご信徒の皆様にご故人を偲び、お祈りいただく法要として「観世音夏まつり」をお勤めしております。

当日は、観音総拜所にて施餓鬼回向法要をお勤めし、お申し込みいただいたご戒名を「一体一読み上げて、皆様のご先祖様やご縁故の方々に回向申し上げます。

ご回向申し込みのご案内は、改めて六月中旬頃にお届けいたします。

当山の三十三所堂では、車椅子の方でも観音三十三所お砂踏み体験いただけます。あわせてお参りくださいますよう、お勧めいたします。なお、記念事業工事実施のため、恒例の法話と落語は中止させていただきます。ご理解のほど宜しくお願いいたします。

- 柴燈大護摩供 添え護摩木
- 御供料 一本 三百円
- 受付 五月二十八日当日まで

裏
 祈身体健全 瀧谷太郎 五十才

表
 心身、奉修柴燈大護摩供 瀧谷山

- 七月十八日 観世音夏まつり
- 回向料 一口(五体) 三千元
- 受付 六月頃 改めてお届け



観音総拜所でのお勤め



經典解説

十善戒
 弟子某甲
 尽未来際
 不殺生 不偷盜
 不邪淫 不妄語
 不綺語 不惡口
 不兩舌 不慳貪
 不瞋恚 不邪見

行のつです。次に「三帰」では、修行にあたる師となる仏様に帰依して、仏様との絆を確認しました。

さて、今回の「十善戒」では、私たちは「戒」を受けることになり、戒とは広い意味で「習慣」のこと。上に挙げた「十善戒」の文句をお唱えすることで、私たちは修行の基礎となる、良き習慣を守ることを誓います。

前回に引き続き、スポーツに例えてみます。スポーツで優れた成績をおさめようとしたら、良いコーチの指導を受け、正しい練習プログラムをこなすのが一番の近道です。ですが、厳しい練習プログラムをこなすためには、正しい生活習慣を保ち、練習に集中できる環境を準備しなければなりません。

同じように、私たちが修行に取り組むにあたっては、良き習慣を保ち、悪しき行いから起こる心の迷いをしずめ、心身を清らかにしていく必要があります。正しい習慣を保つことが、修行の基礎を築くことになり、この良き習慣を保つための指針として、最も基本的な十の原則を挙げたものが、この十善戒です。

この十善戒に説かれることがらは、規則として守りさえすればいいというものではありません。むしろ、自ら進んで規則を守り、習慣として自分のものとする自律的な心が大切です。その意味で、戒は単なる習慣や規則というより、掟を守り、日頃の行いを通じて仏様の人格に少しでも近づこうとする誓いとも言えます。それゆえ、この誓いに従って、悪をなさず、善を行うことが、これからの修行の何よりの原動力となります。

ところで、初回の「懺悔文」の解説のなかで、私たちの行いには身体（身業）・言葉の行い（語業）・心の行い（意業）があると説明しました。今回のテーマである十善戒は、私たちの日々の行いのなかで実践するもので、この十善戒にも、身体（身業）の行い・心の行い（語業）の行いそれぞれ、守るべき誓いが立てられています。ならべてみると、次のようになります。

- 身業……不殺生 不偷盜 不邪淫
- 語業……不妄語 不綺語 不惡口
- 意業……不兩舌 不瞋恚 不邪見

このように十善戒は、身体・言葉・心の三つの側面から、悪しき行いをしりぞけ、善い行いを実践していくことを目指した構成になっています。今回は大枠を見たところで、詳しい内容は次回から。

瀧谷山礼拝法則（目次）

- 先 懺悔文
- 次 三帰
- 次 三竟
- 次 十善戒
- 次 発菩提心真言
- 次 三摩耶戒真言
- 次 光明真言
- 次 本尊火界咒
- 次 般若心經
- 次 瀧谷不動明王和讃
- 次 本尊慈救咒
- 次 本尊一字心真言
- 次 御内仏諸真言
- 次 大金剛輪陀羅尼

『瀧谷山礼拝法則』をご所望の方は、当山御膳場にて千円で販売しています。

総事業費十二億円 客殿棟・寺務棟新築
令和三年
開創一千二百年
記念事業にご奉賛お願い

当山は平安時代 弘仁十二年（西暦八百二十一年）弘法大師の開基と伝えられ、令和三年は開創一千二百年に正当いたします。この勝縁に際し、令和三年五月に開創一千二百年祝法要を奉修する予定であります。またこの法要の記念事業として、寺務棟と客殿棟の新築工事を実施しております。

昨年末、第一期工事の寺務棟が完工し、ご祈祷受付所・お控えの間が完成。節分会での如意宝珠のお授けも、特設道場を設け再開することが出来ました。続く二期工事の客殿棟は、今年三月より着工しております。

災害対策に限界のあった旧来



完成した寺務棟



完成予想図

岸和田市
南河内郡
藤井寺市
藤井寺市
藤井寺市
堺市
柏原市
富田林市
河内長野市
京都市
堺市
東大阪市
羽曳野市
兵庫県
大阪市
大阪市
松原市
福岡県
大阪市
富田林市
八尾市
堺市
守口市
八尾市
富田林市
藤井寺市
堺市
堺市
羽曳野市
岸和田市
岸和田市
兵庫県

開創一千三百年記念事業
寄進者御芳名(敬称略順不同)

堺市
和泉市
河内長野市
堺市
大阪市
堺市
八尾市
八尾市
河内長野市
河内長野市
富田林市
富田林市
堺市
大阪市
柏原市
堺市
松原市
羽曳野市
富田林市
南河内郡
河内長野市
藤井寺市
八尾市
八尾市
堺市
大阪市
堺市
富田林市
和泉市

大阪市
羽曳野市
奈良県
大阪市
大阪市
大阪市
藤井寺市
富田林市
富田林市
高石市
奈良県
松原市
吹田市
富田林市
東大阪市
河内長野市
奈良県
堺市
河内長野市
河内長野市
泉南市
尼崎市
富田林市
富田林市
富田林市
富田林市
堺市
富田林市
八尾市
河内長野市
河内長野市
河内長野市
堺市
堺市
大阪市
大阪市
富田林市
八尾市

柏原市
堺市
富田林市
奈良県
堺市
堺市
富田林市
兵庫県
河内長野市
羽曳野市
堺市
松原市
松原市
羽曳野市
富田林市
河内長野市
堺市
高石市
南河内郡
富田林市
堺市
大阪市
南河内郡
奈良県
富田林市
大阪府
神戸市
河内長野市
富田林市
河内長野市
堺市
堺市
貝塚市
大阪市
大阪市
大阪狭山市
松原市
富田林市

記念事業寄進者御待遇表

百万円以上	五十万円以上	三十万円以上	十万円以上	五万円以上	三万円以上	一万円以上
同右	同右	同右	同右	同右	同右	山報に御芳名を掲載いたします。
同右	同右	同右	同右	同右	御芳名簿に記入して客殿 仏間に納め、永く家門繁 栄を祈念いたします。	御芳名を記入した板札を 境内の建札台に掲げ、広 く顕彰いたします。
同右	同右	同右	同右	同右		
同右	同右	同右	同右	同右	落慶法要にご案内して記 念品を進呈いたします。	受付時に記念品を進呈 し、落慶時にご案内をいた します。

